

働き方改革等実態調査・分析業務委託に係る委託候補者選定の手順及び審査の基準

次の基準に従って審査員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価した点を合計したものを審査点(80点満点)とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位をつけるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案者が複数ある場合は、審査員の多数決により順位を決定する。

なお、審査委員の2名以上が評価点2点未満(配点10点の項目は4点未満)とした評価項目が1つ以上ある場合または審査点が40点未満の場合は順位にかかわらず委託候補者とししない。

区分	評価項目	評価の視点	配点 (80点満点)
業務遂行能力	業務実績	○本業務と同種又は類似の業務の調査・分析実績があり、本業務に関して優れた知見や遂行能力を期待できるか。	5
	業務実施体制	○本業務の実施にあたり、実施体制と管理体制が整っており、事業を効果的に実施できる体制が整っているか。	5
	業務実施計画	○業務スケジュールは、期日までに業務を確実に遂行でき、実現性があるか。 ○実施手順が効率的であるか。	10
業務内容	コンセプト	○本業務の実施目的、業務内容を理解し、県の意図を十分反映した提案がなされているか。	5
	調査設計	○調査の全体設計は、仕様書の定める「業務の目的」を達成するための効率的かつ効果的なものとなっているか。 ○調査の内容は、仕様書に沿った設定となっているか。 ○対象者は、調査を効果的・効率的に実施するため、整理がなされた上で、絞り込みが行われているか。	10
	調査の実効性	○仕様書の定める有効回答数を達成するための工夫がなされているか。	10
	集計・分析	○集計は、調査を正確かつ適切に反映するための手法となっているか。 ○分析は、正確かつ適切に現状を分析し課題を設定した上で、仕様書の定める「業務の目的」を達成するための実践的かつ具体的な提案につながるものとなっているか。	10
	調査結果(報告書)	○仕様書の定める「業務の目的」を達成するため、提案される能力等や育成するための環境整備について具体的かつ実践的な記載となるよう、意識されているか。 ○整理手法は、例えば、現状分析、課題整理、施策・事業の展開など合理的で適切なものとなっているか。 ○図表などを使いながら誰でも分かりやすい内容となっているか。	10
	創意工夫	○「業務の目的」を達成するために調査設計や集計・分析に独自の工夫が見られるか。 ○その他、仕様書にない新たな提案がなされているか。	10
提案価格	提案価格	以下の計算式による 5点×応募者中の最低価格／提案者の価格 (※小数点以下四捨五入)	5
合計【審査点】			80

評価の基準

内容点の各評価項目の評価点は、評価項目ごとに5点もしくは10点満点の配点とする。

	5点満点	10点満点
・非常に優れている／非常に期待できる	5点	10～9点
・優れている／期待できる	4点	8～7点
・委託先として望ましい水準	3点	6～5点
・やや劣る／あまり期待できない	2点	4～3点
・要求水準を明らかに満たしていない	1点	2～1点
・提案がされていない	0点	0点